

## 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会について

呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会（以下「懇談会」といいます。）の開催状況等について、報告します。

### 1 懇談会の目的

懇談会は、そごう呉店跡地だけではなく、少し広い範囲で呉駅周辺地域の在り方を検討していくために、再開発や駅前広場整備などについて国の第一線で活躍されている有識者の方々に、呉駅周辺地域の目指すべき姿や将来像、具体化に向けた手法等について専門的な見地から助言、提言等を頂くことを目的としています。

### 2 名簿（順不同・敬称略）

#### (1) 委員

氏名	役職等	備考
羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授	座長
塚井 誠人	広島大学大学院工学研究科准教授	副座長
鈴木 克宗	一般財団法人道路新産業開発機構理事	
安藤 恒次	独立行政法人都市再生機構理事	

#### (2) オブザーバー

氏名	役職等
富樫 篤英	国土交通省中国地方整備局企画部長
田井中 靖久	国土交通省中国地方整備局建政部長
福田 敬大	国土交通省中国地方整備局道路部長
植田 雅俊	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長

### 3 会議の開催状況

#### (1) 第1回会議

- ア 開催日 平成30年5月2日
- イ 議事概要 呉駅周辺地域の現状・課題等について

#### (2) 第2回会議

- ア 開催日 平成30年10月26日
- イ 議事概要 呉駅周辺地域総合開発の方向性について

## 4 第1回会議の内容

### (1) 呉駅周辺地域の現状

#### ア 鉄道

JR呉駅の乗降客数 約23,000人/日  
上下線合わせて 115本/日  
ピーク時間帯 7本(平日7:00~8:00)

#### イ バス

呉駅バス停の乗降客数 約8,000人/日  
発車便数 693便/日  
路線数 17路線

### (2) 呉駅周辺地域の課題

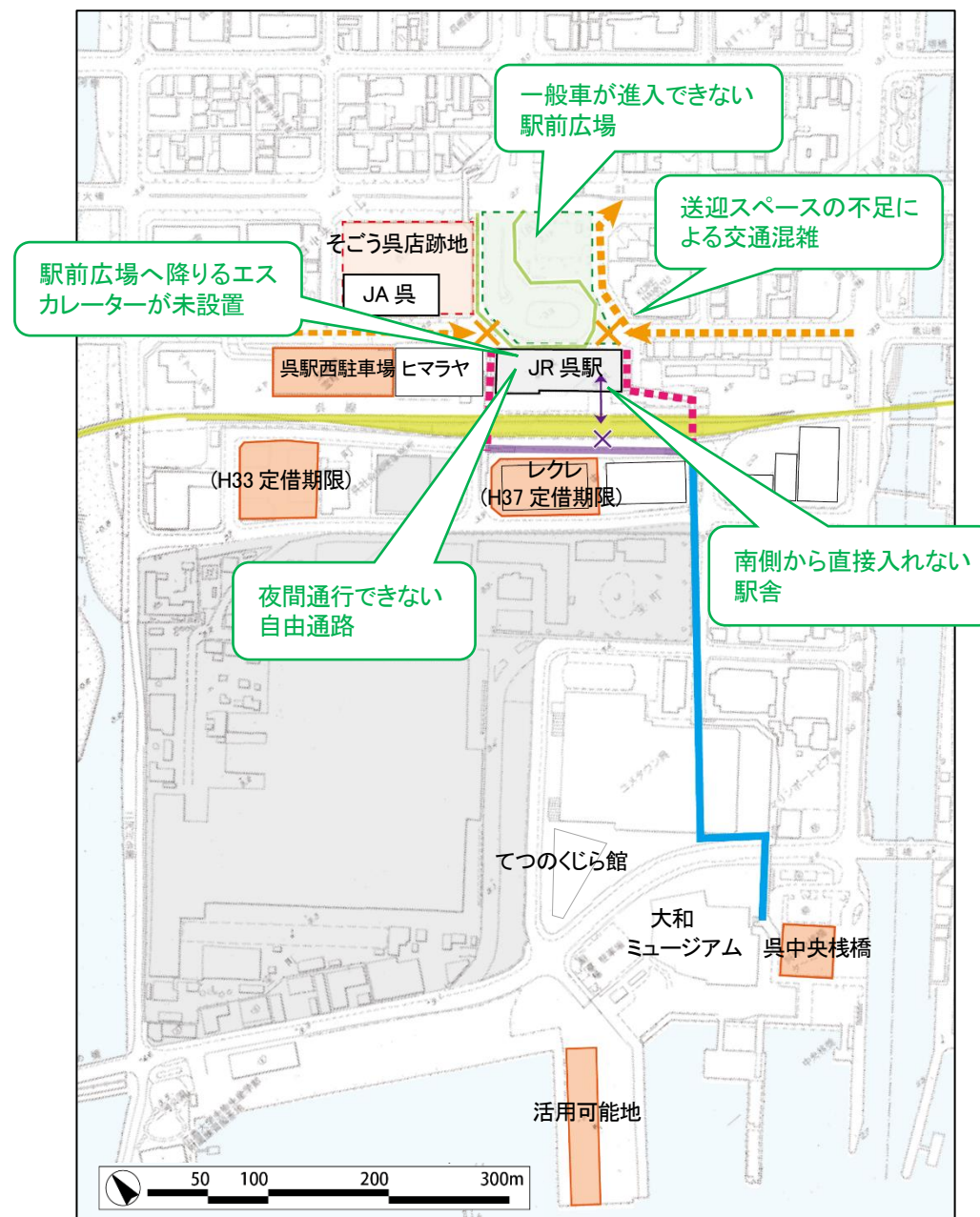
ア 最も大きな課題は、平成25年の閉店から5年以上が経過しているそごう呉店跡地の活用

イ 駅前広場は、バス及びタクシー専用のロータリーとして使用されており、一般車の使用ができず送迎スペースが不足している。

ウ 南側から直接入ることができない駅舎。また、駅前広場へ降りるエスカレーターが未設置

エ 夜間通行できずバリアフリーが不完全な自由通路

オ 呉駅発着の観光バスは乗降場がなく、離れた場所を利用している。



### (3) 主な意見

- ア 駅・国道・港が非常に近接しているという呉駅周辺地域の強みを生かし、海上ルートとも結び付けながら議論していきたい。
- イ 呉駅周辺をまちづくりの中心として考えて行く場合、駅を挟み北側と南側の移動を円滑にすることが重要になる。
- ウ 現在の呉駅は必ずしも市民が使いやすい駅になっていない。使いやすい駅にしたい。
- エ 事業の推進に当たっては、例えば、アーバンデザインセンター（公民学が連携したまちづくりの推進組織）のようなものを立ち上げ、大学などの研究機関と連携し、市民の皆様にも参加していただきながら進めてはどうか。

## 5 第2回会議の内容

### (1) 懇談会で示された呉駅周辺地域総合開発の方向性（案）

ア 呉駅を鉄道の駅から港・バスターミナル（市内・都市間バス、次世代BRT※）が集積する総合交通拠点駅と位置付け、交通手段間の接続を強化していく。

イ 駅南北をつなぐデッキの整備を中心とした計画とし、駅北側の商店街や、南側の観光施設等へのアプローチを促すとともに、デッキの中心には日常的な市民の憩いの場となる広場を整備

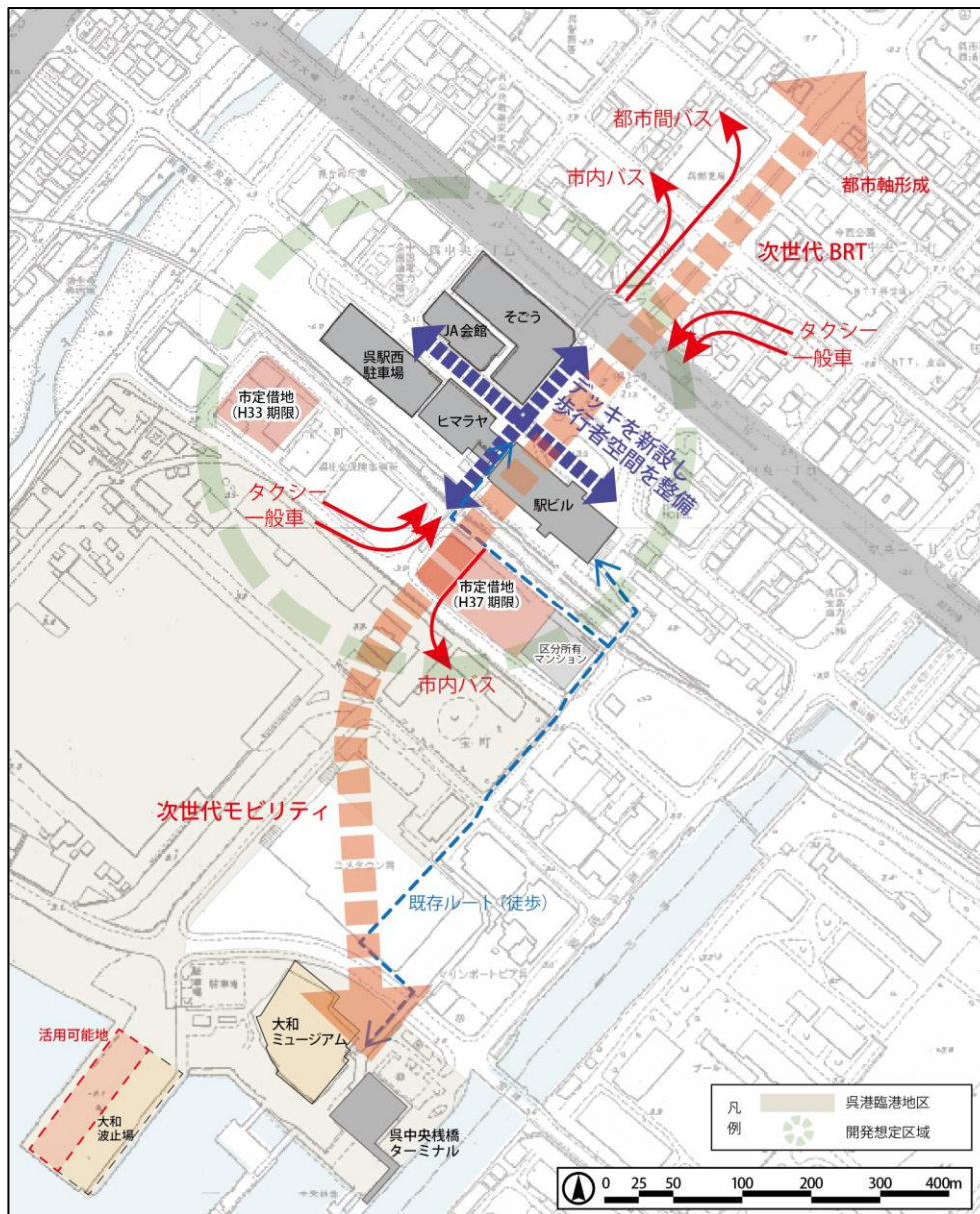
ウ デッキの下は、一般車の送迎、タクシー・路線バス等の発着場所を整備し、交通の拠点となる空間を整備

エ 平成30年7月豪雨災害を踏まえ、災害時には地域の防災拠点として機能を整備

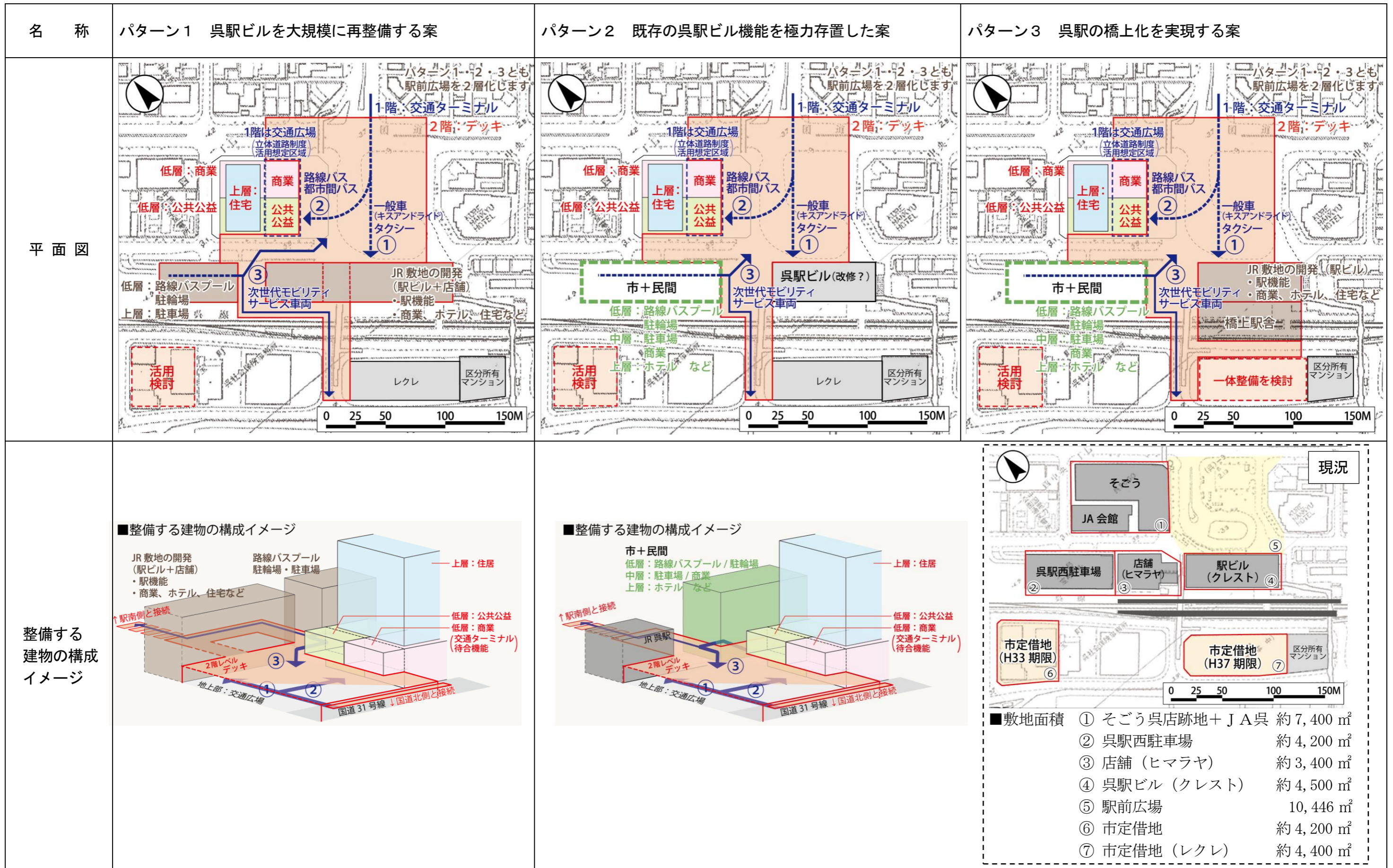
オ 人を中心に据えながら、次世代BRTなどの交通拠点機能や防災機能等を併せ持つ、都市型「道の駅」として整備するとともに、広域道路計画への位置付けを目指す。

カ コンパクトシティの拠点として機能させていく。

※ Bus Rapid Transit の略。バス高速輸送システム



(2) 懇談会で示されたゾーニング（案）



※ 地権者・関係者とは、未調整です。

### (3) 主な意見

- ア 駅はいったん作ると50年・100年と続いていくものなので、自動運転など新しい技術を受け入れられるような柔軟な駅の構成を考  
えていくべきである。
- イ 7月の豪雨災害を踏まえて、呉駅周辺地域に期待された役割、果たせた役割・果たせなかった役割をしっかりと検証して、この駅周辺に  
持たせるべき機能や設備等を落とし込むことが大事である。
- ウ 一般車の乗り入れを可能とするなど、市民が利用しやすい交通広場として整備するとともに、市民が自然と集い・まったりとできる広  
場空間を確保する。
- エ M a a S (※)という考え方を取り入れ、呉にある色々な交通手段を一つのサービスとして展開していく拠点に呉駅をしてはどうか。

※ Mobility as a Service の略。移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして据える概念

### 6 今後の予定

今年度内に2回程度懇談会を開催し、懇談会からの提言を頂く予定です。  
また、平成31年度は基本計画を策定するとともに関係機関協議を行う予定です。